

平成 28 年 8 月 3 日

各 位

上場会社名 静岡ガス株式会社
 代表者名 取締役社長 戸野谷宏
 (コード番号 9543 東証第一部)
 問合せ先 コーポレートサービス部 中村 暢 秀
 経理担当マツジャー
 (TEL 054-284-7990)

平成 28 年 12 月期第 2 四半期累計期間業績予想と実績値との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 28 年 5 月 11 日に公表しました平成 28 年 12 月期第 2 四半期累計期間(平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日)の業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、平成 28 年 2 月 8 日に公表しました平成 28 年 12 月期通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 第 2 四半期累計期間の業績予想と実績値の差異について

平成 28 年 12 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想数値と実績値の差異(平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	63,120	7,930	8,200	5,360	72.67
実 績 値 (B)	60,883	11,077	11,412	7,632	103.47
増 減 額 (B - A)	△2,236	3,147	3,212	2,272	
増 減 率 (%)	△3.5	39.7	39.2	42.4	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 12 月期第 2 四半期)	82,746	8,844	8,750	5,546	75.23

平成 28 年 12 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想数値と実績値の差異(平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	55,750	8,210	6,520	88.39
実 績 値 (B)	54,266	11,020	8,462	114.74
増 減 額 (B - A)	△1,483	2,810	1,942	
増 減 率 (%)	△2.7	34.2	29.8	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 12 月期第 2 四半期)	75,193	8,202	6,514	88.35

業績予想と実績値との差異の理由

売上高は、ほぼ前回予想どおりで推移する一方、費用面では、為替レートが想定していた水準に比べ円高で推移したため原材料費が想定を下回ったこと、また、諸経費の発生が想定より遅れていることなどにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益(個別業績予想においては四半期純利益)は、連結・個別とも前回発表を上回る結果となりました。

2. 通期業績予想の修正

平成28年12月期通期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成28年1月1日~平成28年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	123,040	5,970	6,440	3,880	52.62
今回修正予想(B)	111,160	9,710	10,200	6,610	89.61
増減額(B-A)	△11,880	3,740	3,760	2,730	
増減率(%)	△9.7	62.6	58.4	70.4	
(ご参考)前期実績 (平成27年12月期)	146,058	11,563	12,056	7,638	103.60

平成28年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成28年1月1日~平成28年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	107,630	5,030	4,250	57.64
今回修正予想(B)	96,660	8,530	6,680	90.55
増減額(B-A)	△10,970	3,500	2,430	
増減率(%)	△10.2	69.6	57.2	
(ご参考)前期実績 (平成27年12月期)	132,885	9,280	7,425	100.70

修正の理由

最近の業績動向を踏まえた結果、通期の業績予想を修正いたしました。

売上高は、前回業績予想時に比べて原料価格の下落を想定していることから、原料費調整制度に基づく販売単価の下落などにより、前回業績予想に比べ9.7%減の111,160百万円となる見通しです。

営業利益は、原料価格の下落による原材料費の減少幅が売上高に比べて大きくなることなどから、前回業績予想に比べ62.6%増の9,710百万円となる見通しです。また、経常利益は同58.4%増の10,200百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同70.4%増の6,610百万円となる見通しです。

なお、個別業績予想の修正についても、同一の理由によるものです。

(参考)原油価格・為替レートの想定

原油価格 (全日本CIF)	前回想定	60ドル/bbl(第3~4四半期)
	今回想定	50ドル/bbl(第3~4四半期)
為替レート	前回想定	125円/ドル(第3~4四半期)
	今回想定	105円/ドル(第3~4四半期)

(注)上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって記載の予想数値と異なる結果となることがあります。

以上